

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	住宅販売会社 （従業員）	販売量の動き	・住宅ローン減税の利用を見込んだ駆け込み受注がうかがえる。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・人の流れが若干良い方向に向かっている。街をぶらぶらしているだけという感はあるが、少し明るい兆しである。
		スーパー（店長）	単価の動き	・客単価が前年を上回り、来客数も2%増加しているため、売上は対前年比3%増加している。
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・新車の販売台数が少し伸びている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・航空券の売上は、ビジネス客、大学進学者を中心に比較的好調であった。しかし、一般旅行は、イラク情勢、重症急性呼吸器症候群などの影響により海外旅行、国内旅行ともに低調であった。
		タクシー運転手	お客様の様子	・四国霊場参りの客が増えており、市内の空きタクシーが減っている。また、夜の動きも少し良くなっている。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・従来よりも高額メニューの利用者が増えている。
	変わらない	百貨店（営業担当）	それ以外	・来客数は対前年比プラスで推移し、売上も前年実績を確保したが、客単価が減少している。商品別では、ブランド商品、宝飾品は好調であるが、紳士用品、リビング用品、食品ギフトは相変わらず苦戦している。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・売上の前年割れが続いており、流れとしては変わっていない。
		衣料品専門店 （経営者）	販売量の動き	・目立った流行商品がないのと消費マインドの冷え込みから、単価は上昇しているものの、来客数と販売量が減少しており、全体としては変わらない。
		乗用車販売店 （従業員）	お客様の様子	・決算期ということもあり、新型車の発売がないにもかかわらず、客の動きが活発である。しかし、販売量の上乗せにはつながらず、例年とほとんど変わらない。
		一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・大入りの日があれば、次の日はまるっきり客が来ないといった状況が続いている。また、グループ客もだんだんと少人数化してきて、大人数の会食が減少している。常連客についても同様で、会食の回数が減少している。このような状況が日常化している。
		都市型ホテル （経営者）	単価の動き	・客単価が伸び悩んでいる。また、来客数も低迷しており、まだまだ景気の底入れをしていない。
	やや悪く なっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・消費者は、将来不安に世情不安も重なって、ますます閉塞感がうかがえる。このままでは、ごく限られた好調商品にまで購買意欲を失う最悪のパターンになりつつあるのではないかと。
		一般小売店〔菓子〕	販売量の動き	・ホワイトデーやお彼岸の需要も落ち込んでいる。
		一般小売店〔乾物〕	単価の動き	・イラク情勢などで買い物をしようという雰囲気でない。
		百貨店（総務担当）	お客様の様子	・消費者が必要になるぎりぎりまで物を買わないという傾向にある。
		スーパー（財務担当）	販売量の動き	・消費者の買い控えが続いており、売上が対前年比で1月0.6ポイント、2月0.9ポイント悪化している。
		衣料品専門店 （経営者）	お客様の様子	・ヤング向けはある程度売れているが、ミセス向けがなかなか動かない。特に、高級商品の購入については非常に慎重で、1品しか買わないという傾向が続いている。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・新入学生の需要が昨年よりも2割ほど減少している。また、一人当たりの金額も抑えられており、売上が低迷している。
美容室（経営者）		来客数の動き	・来店周期が、かなり長くなっている。	
その他住宅〔不動産〕 （経営者）		販売量の動き	・1月以後、売り希望、買い希望の新規注文が少なく、売買契約締結の実績が低調である。	
悪く なっている		一般小売店〔酒類〕 （経営者）	販売量の動き	・料理店、スナック等の業務向けの動きが悪く、景気の悪さを非常に感じる。

		スーパー（店長）	競争相手の様子	・最近、近くに出店した競合店が安売り販売戦略をとっているため、売上が低迷している。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・商品が行き渡ったということもあるが、客の購買意欲が非常に鈍く、販売量が落ち込んでいる。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末は忙しい時期であるが、今年は、特に官庁関係と精密機械関係からの受注があり、非常に忙しい。
	変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・得意先の売上が、ほとんど変わらない状況で推移している。
		化学工業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・イラクへの武力行使により、先行きの原油価格の高騰が予想されることから、部分的に発注単位数が増加傾向にあるが、全体としては変わらない。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・取引先の業績をみると、受注価格、販売価格とも回復しておらず、さらに、販売量も横ばいで推移しているため、売上、利益とも厳しい状況が続いている。
	やや悪くなっている	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・発注オーダーが非常に小さくなっており、受注量が伸びない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・イラク情勢が始まった影響で、受注が減少している。
		建設業（総務担当）	それ以外	・比較的好調であった大型流通業の出店競争が鈍化しており、今後の出店見通しが不明。
		輸送業（配車担当）	それ以外	・物流量の増加が期待できない中、燃料価格の上昇とスピードリミッター規制により経費が増加している。今後、運賃値上げと経費削減に向けた取組みが早急に必要である。
		広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年、新規顧客を獲得できる時期であるが、今年は皆無である。
悪くなっている	家具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末の在庫調整と建設資材の基準変更に伴う買い控えの影響から、受注量が減少している。	
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（従業員）	求人数の動き	・求人数、採用者数ともこれまでの伸びには一服感が見られるものの、上昇基調にある。
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・新卒の求人は活発な動きが見られるが、パートやアルバイトを除く、即戦力の中途採用に関しては少し手控え感があり、全体としては変わらない。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・前年同月に比べ、有効求人数は増加し、有効求職者数は減少しているが、窓口の混雑ぶりから判断すると決して上向きとは思えない。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数、有効求人数とも、対前年同月比マイナスが続いている。新規求人数は、運輸・通信業でプラスに転じたものの、製造業や建設業、卸・小売り、飲食店、サービス業では2ケタのマイナスとなっている。
		学校〔大学〕（就職担当）	雇用形態の様子	・新卒採用者数が厳しく抑制される一方で、即戦力の高い人材を求める傾向があり、雇用のミスマッチが続いている。
悪くなっている	-	-	-	